

- 9 私たちはバビロンを癒やそうとした。 だが、それは癒やされなかった。  
私たちがこれを見捨てて、 それぞれ自分の土地へ帰ろう。 バビロンへのさばきが、  
天に達し、大空まで上ったからだ。
- 10 【主】は私たちの義を明らかにされた。 さあ、私たちはシオンで、  
私たちの神、【主】のみわざを語ろう。
- 11 矢を研ぎ、小盾を取れ。 【主】はメディア人の王たちの霊を  
奮い立たせられる。 御思いは、バビロンを滅ぼすこと。  
それは【主】の復讐、 ご自分の神殿の復讐だからである。
- 12 バビロンの城壁に向かって旗を掲げよ。  
見張りを強くし、番兵を立て、伏兵を備えよ。  
【主】は計画を練って、 バビロンの住民について語ったことを  
実行されるからだ。
- 13 大水のほとりに住む、財宝に富む者よ。  
おまえの最期、おまえの寿命が尽きる時が来た。
- 14 万軍の【主】はご自分にかけて誓われた。  
「わたしは必ず、バツタの大群のような人々で おまえを満たす。  
彼らはおまえに対して叫び声をあげる。」

\* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年 8月 7日 (日)

礼拝メッセージノート

## 「バビロンへの預言Ⅳ～異邦人への裁き⑦」

| エレミヤ書講解-94 エレミヤ書51:1~14 小野寺 望 牧師

### 【エレミヤ書 51章】

- 1 【主】はこう言われる。 「見よ。わたしはバビロンに対し、  
レブ・カマイの住民に対して、 滅ぼす者の霊を奮い立たせ、
- 2 他国人たちをバビロンに送る。 彼らはこれを吹き散らし、その地を滅ぼす。  
彼らは、わざわいの日に、 四方からこれを攻める。」
- 3 射手には弓を引かせるな。 よろいを着けて立ち上がらせるな。  
そこの若い男たちを惜しむな。 その全軍を聖絶せよ。
- 4 刺し殺された者たちが、カルデア人の地に、  
突き刺された者たちが、その通りに倒れる。
- 5 しかし、イスラエルもユダも、 その神、万軍の【主】に見捨てられることはない。  
彼らはイスラエルの聖なる方から離れ、 彼らの地は罪過で満ちていたが。  
バビロンの中から逃げ、 それぞれ自分自身を救え。
- 6 バビロンの咎のために絶ち滅ぼされるな。 これは、【主】の復讐の時、  
主がこれに報いをなさるからだ。
- 7 バビロンは【主】の手にある金の杯。 すべての国々はこれに酔い、  
国々はそのぶどう酒を飲む。 それゆえ、国々は正気を失う。
- 8 バビロンは、たちまち倒れて碎かれる。 バビロンのために泣き叫べ。  
その痛みのために乳香を取れ。 もしかしたら、癒やされるかもしれない。

(4ページへ続く)

## ◆ はじめに

### 1. 「私たちの神、【主】のみわざを語ろう」10節

- (1) 神の民は、示された神のみわざをほめたたえるべきである。
- (2) 神の民にとって、それは喜びであり、使命である。
- (3) 諸国の民への証しの声を、神は用いておられる。

### 2. 主のことばを喜んで語る者の幸い

- (1) 神のことばを語り、それを聞いた人が救われてまた語る者になる。
- (2) 彼らの働きの幸いを、「足の美しさ」によって表現する。イザ52：7、ロマ10：15

## ◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

### 主のみわざを語る者へ

\*このメッセージは、バビロンへの預言から、神の計画の詳細を学ぶものである。

## I 復讐の成就・神による滅亡（1～4節）

(1) 神は「滅ぼす者」を奮い立たせ、バビロンに彼らを送る。

①彼らは外国の軍。バビロンを撃つ「射手」たち。

- \*「レブ・カマイ」はバビロンの別名。（聖書欄外参照）
- \*バビロンは傲慢な態度で【主】を侮った。「高ぶる者」

②バビロンの滅びは、神の復讐の成就である。

- \*若い男（兵）たちは全く抵抗できず、道端で刺し殺される。
- \*彼らのいのちを惜しんではならない。聖絶すべきもの（参照 50：21～28）
- \*これらは「わざわいの日」に起こる。
  - ・「大いなる日」「主の御怒りの日」「復讐の日」（46：10）などは、患難期を指す。
- \*四方から襲われる（50：26） ・主たる勢力は「北からの大国」（50：8～9）
  - ⇨エレミヤの時代、バビロンはメディア・ペルシヤ（イラン人）連合軍に倒された。

③バビロンに対する勝利の時を、神はすでに決めておられる。



## II 復讐の成就・神による解放（5～10節）

### 1. イスラエルは癒される

(1) イスラエルとユダは、約束の地に帰還する（50：33～34 黙18：4参照）

①エレミヤの時代、ユダの民はバビロンに捕囚されていた。

- \*北王国の民を捕囚したアッシリヤは、バビロンに倒された。
- \*ペルシヤの王クロスによる捕囚からの解放。

②大患難時代には、ユダヤ人たちはボツラ（ペトラ）に追い立てられる。

- \*再臨のキリストによる、ユダヤ人の開放。
- \*預言の究極的成就であり、イスラエルが霊・物質両面で癒される時。

### 2. バビロンは癒されない

(1) バビロンは神の裁きを行う器（【主】の御手の中にある金の杯）

- \*「酔う」：バビロンを通した神の裁きを受け、立っていられなくなる様子。

(2) 神に高ぶり、イスラエルを侮る高慢な態度は言い訳できない。

- \*エレミヤの時代は、まだ完全な滅亡は成就しない（現在のイラク）

(3) バビロンの同盟軍たちはバビロンを癒そうとする。

- \*それが不可能だと分かると、バビロンを見捨てて、自分たちの国に帰る。

(4) 神の民は、シオンにある神殿で神のみわざを思い起こし、御名をたたえる。

## III 神の誓い（11～14節）

### 1. 外国の軍隊は「メディアの王たち」 ～二つの解釈

(1) これは前539年に起こったメド・ペルシヤによるバビロン崩壊と関係。

(2) これは、バビロンを攻撃する未来の王たちとも考えられる。

- \*その中の一人は、メディア人が支配する地域（現在のイラン北部）から出る。

### 2. 神の復讐：バビロンを滅ぼす思いを奮い立たせる。

(1) それは神の宮を破壊したことの復讐であり、必ず成就する。

(2) これは神がご自身を指して誓う。→神にとって最上級の誓い。

(3) 物質を誇るバビロンがどう備えようとも、耐えることはできない。

### 3. バッタの大群のたとえ（他の箇所との比較より）

(1) アモス7：1～3 アッシリヤの軍隊

(2) ヨエ1章 ①実際のいなごの大群による被害

- ②大患難時代に働く悪霊たちの影響。苦難が人々を襲う。

(3) 同様の表現で、ここではバビロンを四方から襲う異邦人たちの軍を表す。

- ①大患難時代には、二つの異邦人の軍が招集される。

- \*一つは反キリストに召集され、打倒イスラエルを目指す不信仰の軍隊。

- \*もう一つは、神の招集に応じ、打倒大バビロンを目指す信仰の軍隊。

## ◆ まとめ：主のみわざを語る者へ

### 1. 神の復讐についての二つの側面 神の民の回復と敵への裁き

(1) 裁きを通して神の義が示される時こそ、神の民にとっての希望でもある。

(2) 神の義が示されたことを喜んで、他の人々に語るのである。

### 2. 光と闇の戦いが終わる時・・・あなたはどちらに立つのか

(1) バビロンの王（究極的には反キリスト）に敗北を知らせる飛脚（27～33節）

(2) 世界に向けて、神の勝利（福音）を高らかに伝える者

### 3. クリスマンにとって、語るべき主のみわざ

(1) キリストの降誕と十字架：罪人に対して義と救いが示された。

(2) 神の約束は確かであり、罪赦された者として福音を宣べ伝える。